

**品川区シルバー人材センター
平成 27 年度事業報告**

公益社団法人
品川区シルバー人材センター
会 長 戸 川 五 郎

1. 事業実施状況

概 況

品川区シルバー人材センターは、昭和 52 年 4 月に高齢者事業団として設立以来、高齢者の多様なニーズに対して働くことを通じて社会貢献をしてきたところであるが、センターの事業運営に影響を与える我が国の経済状況は、安倍内閣の金融緩和政策により一時的な株価の高騰などで大企業を中心に景気回復基調にあると言われてきた。しかしながら日本企業の多くを占める中小企業にとってはまだまだ底上げには至らず、さらに最近の原油安の影響で再度、景気の先行きに不透明感が増している。

一方、センターを取り巻く状況は、これまでの臨・短・軽と言った請負、委任などの契約状況から適正就業への指導やシルバー事業の労働者派遣事業参入などにより大きく変化している。

このような状況の中、平成 27 年度は、「就業機会の確保・拡大、会員増強をめざす」「地域の信頼の輪を広げていく」「住み続けたい地域社会づくりに貢献する」との基本方針のもとに、また第三次中期計画の最終年度であることから年度当初に掲げた事業計画の着実な推進に鋭意取り組んできた。

その結果、会員数については平成 27 年度末で前年度より 62 名、6.9%減の 2,513 名となった。この要因は、これまでセンターの中心的存在であった層が 80 歳代から 90 歳代に突入し、高齢、病気などの理由により退会していく一方で、企業等の雇用延長策や人材不足分野へ高齢者を活用、促進したいとの動きからも 60 歳代の入会者が少なくなっており、結果的に会員総数が減少したものと考えている。

事業実績については、受託件数は 17,836 件と昨年度から 482 件ほど伸びているが契約金額は、12 億 5 千 7 百万円と昨年度から 2 千 2 百万円の減となった。これは、公共部門については前年度の衆議院選挙など臨時的事業がなかったこと、民間部分については、前年度の民間の大口契約の解消が影響しているなどの他、全体として小口の契約は増えているものの大口契約が少なくなったことによる。

一方、センターの大きな課題として近年抱えている事故の発生については、23 年度から 25 件、23 件、26 件、26 件、27 年度も 26 件と少しも減少していない。しかも就業中の死亡事故も発生しており、センターにとって最大の課題になっている。事故の要因はさまざまではあるが、会員の身体能力の低下や不注意、油断などの要因が含まれていることは容易に推察される。今後、センターが一丸となって安全就業の取組みを継続し、事故を減らしていくための方策の強化が求められているところである。

以下、事業計画に沿った事業結果について報告する。

I. 事業目標・事業実績について

区分	当初事業目標	事業実績		
		実数	目標との比較	前年度比較
会員数	2,700名	2,513名 (男性1,453名女性1,060名)	△187名 (6.9%減)	△62名 (2.4%減)
就業実人員	年間 2,300名	年間 2,122人	△178名 (7.7%減)	△79名 (3.6%減)
就業延日人員	年間 304千人	314,597日人	10,597日人 (3.5%増)	2,972日人 (1.0%増)
契約金額	年間 128,000万円	1,257,400,347円	△22,599,653円 (1.8%減)	△22,244,137円 (1.7%減)
		内 公共 417,522,099円	/	△7,901,389円 (1.9%増)
		内 民間 839,878,248円		△14,342,718円 (1.7%減)
受託件数	年間 16,500件	17,836件	1,336件 (8.1%増)	482件 (2.8%増)

II. 公益目的事業について

事業1 就業機会の確保・拡大

1. 就業機会確保事業について

(1) 公共の仕事

これまでも公共の仕事として区内小中学校の施設開放管理、地域センターの施設管理、シルバーセンターの受付管理業務、区議会だより等の配布、区との連携事業としてしながわ出会いの湯運営業務、公園等の清掃、資源回収受付、その他喫煙マナーアップ啓発事業など613件の事業を行ってきたが、平成27年度は「品川平和の花壇」植栽管理など2件を新規事業として実施した。

(2) 請負・委託事業

民間の仕事としての請負・委託事業については、例年の事業は年間を通じて着実に実施してきたが、東京労働局や東京しごと財団の適正就業の指導により天然ガススタンド管理業務など3件はやむなく事業を解消した。新規事業については、社員食堂の食器洗浄、商品補充業務、など1,334件あり全体としては昨年度より503件上回ることが出来た。

(3) 地域・家庭からのニーズの充実

近年、高齢者世帯や高齢の単身者が多くなってきたことを反映して、地域の中で粗大ごみの移動、電球の交換など身近なニーズに応える地域コンビニ事業の件数が伸びている。また、一般家庭からの受注も増えている。

①地域コンビニサービス事業

事業項目	実績	事業項目	実績
包丁研ぎ・まな板削り	354 件	室内外の片付け・整理・清掃	152 件
粗大ごみの搬出・解体	95 件	病院・買物の付添代行	85 件
家具移動・その他	137 件		

地域コンビニサービス計 823 件

②家事援助

事業項目	実績	事業項目	実績
家庭内の掃除	83 件	洗濯および掃除	48 件
食事作り	17 件	見守り・付き添い	2 件

家事援助計 150 件

③育児支援

事業項目	実績	事業項目	実績
送迎	22 件	見守り	7 件

育児支援計 29 件

④学習教室事業

区の補助を受けて、低廉な授業料で子ども向けの学習教室事業「おさらい塾」を実施した。平成 27 年度は小学 3 ～ 6 年生を対象とし各学年週 1 回の授業を行い、子どもの基礎学力の向上に努めた。

○小 3 ～ 小 6 各学年 1 クラス 生徒総数 27 名

⑤いきいきプラザ事業

荏原いきいきプラザでは、福祉的就業の場として、引き続き、封入作業や検品作業などの内職作業を積極的に受注し取り組んだ。

実績 150 件

(4) 地区委員会の活動について

地区委員会は、会員相互のコミュニケーションの円滑化や「共働」「共助」の理念に基づき会員の要望や課題の解決に向けて積極的に活動を展開した。

①定期的な地区委員会の開催

毎月、定期的に地区委員会を開催し、センターの直近の話題、課題について意見交換するとともに会報シルバーしながわの配布を実施した。

②地区全体会の開催

夏期、新年に地区全体会を開催し、個別テーマによる勉強会を兼ねて会員の知識の向上に努めるとともに、安全管理委員等がセンターの大きな課題である安全就業について訴えた。また、その際、仕事の募集・会員募集等のポスターの掲出を出席者へ依頼しセンターのPRを実施した。

地区全体会の開催 各地区 年2回

地区	夏期全体会	講習会などの内容	新年全体会	講習会などの内容
品川北	8/9 開催 57名	○認知症予防と対策 講師 台場在宅介護 支援センター所長	1/31 開催 62名	
品川南	8/23 開催 39名	○交通安全について 講師 品川警察署係長	1/23 開催 36名	
大崎	7/26 開催 41名	○笑って笑って暑さを 吹き飛ばしましょう 講師 柏製作所社長	1/31 開催 38名	
大井東	8/23 開催 58名	○交通安全情報と自転 車に関する法律改正等 講師 大井警察署署員	1/24 開催 46名	
八潮	7/26 開催 39名	○熱中症について 講師 品川保健 センター保健師	1/24 開催 50名	
大井	8/2 開催 45名	○高齢者の安全と事故 防止について 講師 大井警察署署員	1/31 開催 47名	
大井西	7/26 開催 30名	○高齢者の交通安全に ついて 講師 大井警察署署員	1/24 開催 29名	○笑って笑って寒さを 吹き飛ばしましょう 講師 柏製作所社長
荏原	7/12 開催 88名	○音の伝達と補聴器の仕組み 講師 リオン株式会社 営業技術課課長	1/23 開催 87名	
中延	7/20 開催 60名	○道に着眼した品川の歴史 講師 品川歴史館 統括学芸員	1/11 開催 60名	
戸越	8/22 開催 57名	○自転車交通法規と事故防止 講師 荏原警察署署員	1/20 開催 64名	○マイナンバー制度について 講師 品川区 情報推進課職員

*なお、全ての地区の地区全体会で、「シルバー人材センターの現状と課題」については三役理事等から説明をし、「安全就業」については安全管理委員会の委員等から会員に注意を呼びかけた。

③地区委員長連絡会の開催

毎月の新入会員研修会に合わせ地区委員長連絡会を開催し、各地区、事務局との情報連絡・情報交換を図るとともに新入会員へ対して地区委員長の紹介、就業相談等を行った。

④ボランティア活動

会員による手品の披露、荏原音楽倶楽部とアコーディオン伴奏による日本唱歌など懐かしい歌を施設の皆さんと一緒に歌い、充実した時間を過ごすことが出来た。

社会福祉法人福栄会東海ホーム訪問 10月6日(火) 参加人数 15名

2. 就業機会拡大事業について

就業開拓専門員が、区内の中小企業事業者を対象に就業開拓を行った。また、区内全域でポスティングを行い中小マンションの清掃や技能系職種の就業を図り、問い合わせにはすぐに打ち合わせに伺うなど就業促進に努めた。

さらに、町会自治会回覧板を活用し、各家庭へも個別にPRを行った。

ポスティング配布数 約 4,500 件

町会回覧板のPR 9月 1回

事業2 普及啓発事業

1. 会員募集の取組み

会員の増強は平成27年度の三つの基本方針の一つであり、多様な手法を駆使して募集事業に取り組んだが入会会員は242名、退会会員が304名で62名の減という結果になった。

年代別に見てみると60歳代が130人、70歳代101人、80歳代が11人とこれまでよりは比較的60歳代の入会が多かった。

区の広報しながわ 年4回実施 区の統合ポスター 1回実施

町会回覧 9月実施 品川ケーブルテレビの募集広告 年間通じて

新入会員の募集チラシ配布 47,000枚 会員の募集ポスター 400枚

その他 東急バスの車内放送、新馬場駅前の案内板広告など

2. 積極的な広報活動の展開

(1) 会員による事業用ちらしの配布 155,000枚

(2) ホームページのリニューアル

5年ぶりにフォーマットなどの基礎的部分から刷新し、より見やすくより情報を得られやすいように変更した。また、インフォメーションコーナーを設けて直近のお知らせをすることも可能になった。

3. イベントへの参加

イベント	実施日時	参加会員・実績
みどりと花のフェスティバル	4/18・19 10/17・18	各日会員他 5 名 包丁研ぎ延べ 122 本 PR グッズ延べ 1,000 個配
武蔵小山一番通り 商栄会一番祭り	10/23～25	各日会員 5 名 包丁研ぎ延べ 255 本 PR グッズ延べ 600 個配布
大商業まつり	11/21	会員他 6 名 包丁研ぎ 76 本 PR グッズ 400 個配布
品川区消費生活展	2/13・14	各日会員 5 名 包丁研ぎ延べ 48 本 PR グッズ延べ 1,000 個配
品川第一地区区民まつり	7/19	会員他 8 名 ポップコーン販売・パター ゴルフ
八潮まつり	7/18・19	会員延 9 名 PR グッズ延 200 個配布 菓子・ジュースの販売

4. 機関誌等の発行

(1) シルバーしながわ

広報担当理事と職員による広報委員が各発行時期に合わせて編集会議を 3 回開催し、安全就業などセンターを取り巻く課題や身近な話題、地区委員会の活動の様子などを取り上げた。

また、本部、支部、支所などの事務所周辺の季節の風景などを加えて読みやすく、親しみのある紙面づくりを心がけた。

年間発行回数 …… 4 回（4 月・7 月・10 月・1 月）

7 月 1 日号から「会員の趣味のコーナー」、10 月 1 日号から「各地区のこれまでの歩み」の掲載を開始

(2) センター通信

会員向けの月刊誌としてこれまでの「事務局だより」を 6 月号から「センター通信」に改めて、直近のセンター情報を会員に知らせる他、就業情報の紹介などを行った。限られた紙面の中ではあったが、事故防止については毎月欠かさず安全就業の重要性について訴えた。就業中の会員には、配分金明細書に同封するとともに、未就業会員の方も入手できるように各事務所に置くように配慮した。

毎月発行 …… 年間 12 回

事業3 研修・講習事業

1. 新入会員研修

センターの行っている事業の基本的理解と就業の際の注意点、待遇の大切さなどの研修を実施した。

年間実施回数 … 12回 対象会員 … 平成27年度新規入会者 242名
 毎月の受講状況 (名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講者	81	20	19	8	18	20	30	14	6	6	11	9

研修プログラム 「待遇」 講師 (株)パトス
 各地区委員長との顔合わせ、つま先立ち体操
 センター事業の説明 事務局長、事務局次長
 就業の相談、あっせん 各担当者

2. 各職群の研修

会員の技能向上と資質向上を目指して各職群ごとに基礎研修を実施した。特に除草班、植木班については造園など技能知識が豊富で長い現場経験を持つ専門家が講師を務めた。

- | | | | |
|---------------|--------|-------|-----------|
| (1) 資源回収業務 | 11月30日 | 79名参加 | [講師 各担当者] |
| (2) 学校施設管理業務 | 3月14日 | 82名参加 | [講師 各担当者] |
| (3) 喫煙マナーアップ | 3月15日 | 64名参加 | [講師 各担当者] |
| (4) しながわ出合いの湯 | 3月18日 | 42名参加 | [講師 各担当者] |
| (5) 除草作業班 | 3月16日 | 18名参加 | |
| (6) 植木作業班 | 3月17日 | 20名参加 | |

※ (5) (6) とともに [講師 加藤造園 加藤信愛氏・野口造園 野口忠男氏]

3. 他機関での研修

(1) 東京しごと財団の就業支援講習会

会員の技術力の向上を図るため、東京しごと財団が実施する「就業支援講習会」に年間を通じて会員の参加を実施した。

就業支援講習会	襖の張替・障子の張替	1名参加
	植木の剪定(初級)	1名参加
	パソコン出張サービス	1名参加
	ステップアップ接遇	4名参加

(2) 第4ブロック共同研修

- | | |
|---------------------|-------|
| ① 「事故の未然防止」講習 | 12名参加 |
| ② 救命救急講習 | 6名参加 |
| ③ 交通安全講習 | 15名参加 |
| ④ パワーポイント(基礎)研修 | 3名参加 |
| ⑤ 「企画立案及び企画書の作り方」研修 | 2名参加 |
| ⑥ 自転車シュミレーター安全講習会 | 6名参加 |

事業4 調査研究事業

平成28年度からの新しい「第4次中期計画」の策定に当たり計画事業具体化のため、お客様と会員に対してアンケートを実施した。

お客様仕事満足度アンケート …別紙資料2

10月下旬から11月末実施

調査件数 1,042件 回収 576件 回収率 55.3%

会員の意識調査 …別紙資料2

10月下旬から12月上旬実施

調査件数 2,527件 回収 1,184件 回収率 46.9%

事業5 相談事業

就業中、未就業中の会員など広く就業上の相談や悩みを理事が聞き取り今後の仕事の改善や会員の生きがいづくりに活かした。また、会員増強の一環として、働く意欲のある高齢者が安心して入会できるように各地区で入会出張相談を行った。

1. 理事による就業相談

総務担当理事により主に未就業会員を対象に「お客様発注内容一覧表」などを活用し、本部および荏原支部で就業相談を実施した。

毎月第二木曜日 午後1時から午後4時まで

相談会員 56名（男性 33名、女性 23名）

その他、資料持ち帰りに多くの会員が来所した。

2. 入会出張相談

各地区の委員長が中心になってセンター事業や入会手続き等について説明、相談を行った。

各地区地域センターや文化センターで開催 実施回数 10回 相談者 30名

3. サポしながわとの連携

サポしながわと連携し、合同就職面接会を共催した。また、合同就職面接会場にて相談コーナーを設置し入会勧誘を行った。

開催回数 年2回 相談人数 7名 会場 きゅりあん

事業6 安全就業推進事業

本センターにおける安全就業対策は、継続した法人組織の維持ができるどうかの重大な課題であり、本年度も多様な取り組みの強化に努めたが事故件数の減にはつながらなかった。事故概要については別紙資料1のとおりだが、転倒事故が8件、転落事故が4件、激突事故が1件、動作の反動が5件、交通事故が6件、その他2件となっている。いずれの事故もうっかりしていた、油断していたなどのヒューマンエラーの伴うものが多かった。中には青信号を横断中に追突されたなどのもらい事故も存在しているが、全国的にも横断歩道を歩行中の子供や高齢者が事故に巻き込まれるケースが多くなっており、高齢者自らが再三再四の注意を図る必要性が求められている。

1. 安全就業強化の取り組み

- (1) 職群班の技能研修や打ち合わせ会に安全管理委員も参加して、安全集会を兼ねたものとして開催し、安全就業についての講話、つま先立ち体操、指差し唱和の訓練、最後にそれぞれ安全宣言等を採用し、安全就業の徹底を誓い合った。

職群班名	研修等の名称	日時・参加人数	内容、安全管理委員の参加
資源回収班	打ち合わせ会 及び安全集会	11/30 79名参加	全員でつま先立ち体操実施 事務局長講話 安全宣言唱和 安全管理委員会参加
学校施設 開放管理班	打ち合わせ会 及び安全集会	3/14 82名参加	全員でつま先立ち体操実施 本部安全就業推進員より安全 確認について 安全宣言唱和
除草班	安全集会及び 技能講習	3/16 18名参加	全員でつま先立ち体操実施 安全管理委員長・事務局長挨拶 講師加藤造園・野口造園の各社長 安全宣言唱和・技能講習
植木班	安全集会及び 技能講習	3/17 20名参加	全員でつま先立ち体操実施 安全管理副委員長・事務局長挨拶 講師加藤造園・野口造園の各社長 安全の誓い唱和・技能講習
喫煙マナーアッ プ班	打ち合わせ会 及び安全集会	3/15 64名参加	全員でつま先立ち体操実施 事務局長より講和 指差し唱和訓練 安全宣言唱和
しながわ 出合いの湯班	打ち合わせ会 及び安全集会	3/18 42名参加	全員でつま先立ち体操実施 本部安全就業推進員より安全 就業について 安全宣言唱和

(2) 安全就業研修の実施

研修・講習事業の欄に記載したとおり、事故の未然防止講習、救急救命講習、交通安全研修などを実施した。

その他、東京しごと財団が主催する安全講習会へ役員・会員が参加した。

講習会名	参加人数	場所	日付
新任安全管理委員会勉強会	2名	東京しごと財団	6/1
安全リーダー研修会	2名	東京しごと財団	7/1
安全大会	4名	東京しごと財団	9/30

(3) 会員への注意喚起の取組み

① 事故事例ちらしの配布

今年度センターで発生した事故の事例を紹介し、身近なところでの事故を取り上げ会員への意識啓発の強化を図った。また、就業報告書を提出の際、一人ひとりの会員に事故への注意の喚起を何度も実施した。

配分金通知送付の際にちらし同封 1回

シルバーしながわ1月号と一緒に配布 1回（全会員）

就業報告書提出の際の注意喚起 3回（1月・2月・3月）

(4) 安全就業基準の徹底

① 就業前からヘルメットの着用徹底、ヘルメットにシールを貼って意識啓発を図った。

② 高所作業の際の脚立の適正使用について遵守するなど、安全就業10ヶ条の啓発ちらしを活用して就業前や就業報告書の提出時に担当者から呼び掛けた。

③ 転倒防止対策の一環として、6月から定時総会、理事会、地区委員長連絡会議などで「つま先立ち体操」を実践し、各会員にも就業前に実践するよう啓発を図った。

(5) 「センター通信」、「シルバーしながわ」の活用

毎回、センターで発生した事故事例を紹介し、安全就業や就業途上の事故防止の注意喚起、KY運動についてその意義を説明し、指差し呼称、指差し唱和、タッチ・アンド・コールの実践の啓発、健康診断受診奨励などをPRした。

2. 安全管理委員会活動状況

(1) 安全管理委員会の開催

定期開催年4回（4月・6月・10月・3月） そのうち2回は地区委員長との合同開催
臨時開催 3回 安全集会（11/30）、死亡事故の発生に伴い急きよ召集（12/16・12/18）

(2) 安全パトロールの実施

実施日	パトロール場所	指摘、留意事項	参加者
5/21	学校施設管理	学校は階段が多いのでよく注意する、自転車利用の際も同様。特に夜間巡回時に懐中電灯等電源の確保を確認。	事務局長他2名
6/23	植木現場3件・除草現場1件	暑い中での作業の為、熱中症に気をつけるよう呼びかけ。	安全管理委員長 他3名
7/22	喫煙マナーアップ1件 植木現場1件	車への注意・歩行者への注意、階段での躓き、熱中症への対応について説明。植木現場では、茶毒蛾・蜂に対する注意。梯子固定・安全帯の着用の徹底等を確認。	安全管理委員長 他3名
8/25	植木現場3件	太い枝の切断時にロープを使用しなかったところ、枝が隣の家のフェンスにかぶさり指で阻止しようと、小指を骨折。この事故をうけて、現場巡回し梯子の使い方や剪定方法について巡回指導。	安全管理委員長 他2名
9/17	城南能力開発センター・海洋大学・マンション清掃の3件	清掃関係の現場を巡回。会員証の携帯や段差の注意等を指導。	安全管理副委員長 他4名
11/18	植木現場3件	三脚・脚立の使用方法について確認。1件では地面の傾斜や段差凸凹にもう少し注意を払うよう指導。	安全管理委員長 他3名
1/21	植木現場1件 マンション清掃・管理1件	植木現場は特段事項はなし、一人現場では、何かあった時の連絡方法を確認。マンション清掃については、脚立での電球交換の際のヘルメット着用と、複数会員で行うよう指導。	安全管理委員長 しごと財団 安全パトロール員 安全推進員 計3名

(3) 安全就業強化月間

① 「安全就業強化月間」 7月の実施事業

- ・ 全会員を対象「安全心得10ヶ条」クリアファイルを作成および配布。
- ・ 熱中症・茶毒蛾・蜂等に対する注意喚起チラシを配分金明細書に同封。
- ・ 安全意識の向上を図るためシルバーしながわ（7/1号）で安全に関する特集記事を掲載。

- ・各事務所で「転倒防止」・「熱中症対策」のチラシと熱中症対策の塩飴を渡しながらの注意喚起とつま先立ち体操の奨励。
- ・各事務所を猛暑避難拠点（避暑シェルター）として麦茶を用意、安全就業の垂れ幕を掲出。
- ・夏の地区全体会において安全管理委員が参加しての安全講習会を実施。

②「安全就業強化月間」11月の実施事業

- ・本年度発生 of 事故状況を9月分まで集約し、安全意識啓発チラシを作成、注意喚起を図った。
- ・初めて安全集会を11/30に資源回収班で安全管理委員会も出席し実施。つま先立ち体操、事務局長講話、安全宣言を参加者全員で唱和。
- ・センター通信等で、就業経路途上の転倒事故・自転車事故防止の呼び掛けを行った。
- ・本部、支部、支所、作業所へ安全就業の垂れ幕を掲出。
- ・各事務所で来所会員に風邪予防の「のど飴」を配布。
- ・安全標語の募集

(4) その他の取組み

年間を通じて安全就業用帽子の配布、夜間歩行中の危険防止として安全グッズ「あんぜんたまご」の配布、安全就業用ベストの作成 3,000着

3. シルバー保険、自転車総合保険の加入斡旋

(1) シルバー保険加入 2,513 件（平成28年3月31日現在）

(2) 自転車総合保険の加入の斡旋

保険加入者数 平成27年10月1日現在 425人

Ⅲ 収益事業

国有地・所有地をセンターが道路占用許可や行政財産の使用許可を得て、駐車場として経営した。また、毎日の清掃、不法駐輪・駐車撤去や道路の整理・整頓などを実施して周辺環境の整備に努めた。

実績額 850万円

Ⅳ 法人運営（法人会計）

公益法人の機関運営は、会費収入の半額その他で運営することとなっているため、簡素で効率的な法人運営の徹底に取り組んだ。

1. 平成27年度定時総会

開催日時 平成27年6月12日（金） 午後1時30分～
開催場所 品川区東大井5-18-1 きゅりあん（大ホール）
会員数 2,595名
出席会員数 1,810名（内委任状1,331名）
定足数 1,298名（会員数の2分の1）
議案

第1号議案 公益社団法人品川区シルバー人材センター
平成26年度決算報告

第2号議案 理事・監事の選任について

報告事項 公益社団法人品川区シルバー人材センター
平成26年度事業報告

報告事項 公益社団法人品川区シルバー人材センター
平成27年度事業計画及び収支予算書

2. 理事会

理事会等を定期的に行い、事業の全体状況や会員の現状など運営全般を適宜把握し、社会経済情勢の変化に対応した管理と経営に努めた。

理事会 年…12回開催

三役会 年…11回開催

2.会員の状況

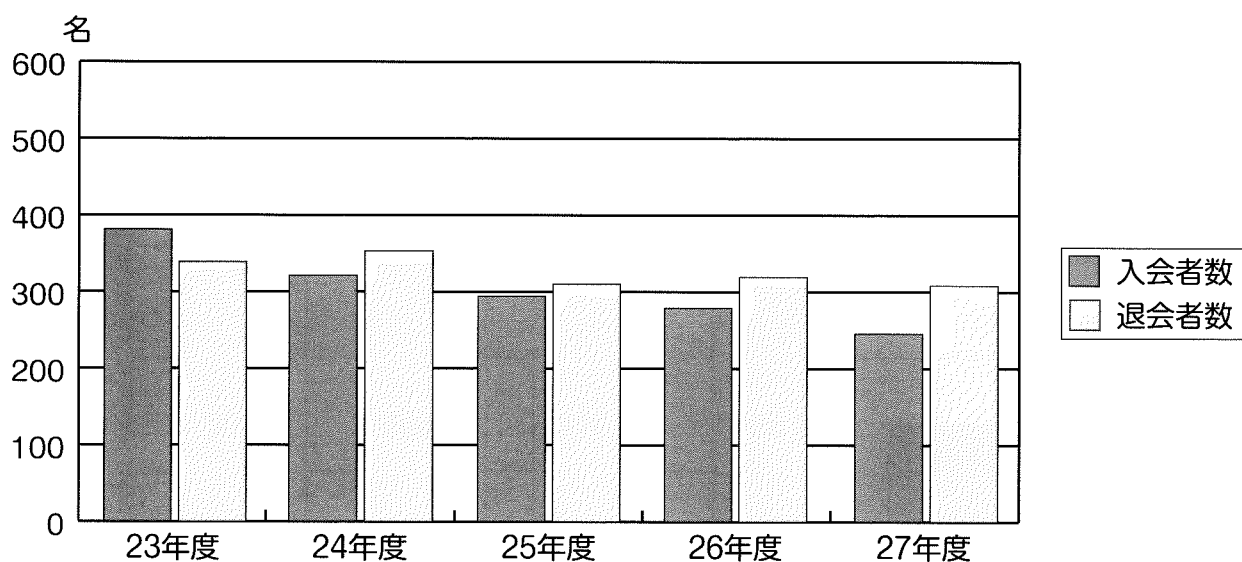
(1) 会員の入退会者数

年月	入会		退会		月末会員数		
	男	女	男	女	男	女	計
27.4	54	27	39	22	1,503	1,092	2,595
5	10	10	48	41	1,465	1,061	2,526
6	8	11	14	12	1,459	1,060	2,519
7	5	3	8	7	1,456	1,056	2,512
8	8	10	7	4	1,457	1,062	2,519
9	14	6	5	7	1,466	1,061	2,527
10	14	16	5	6	1,475	1,071	2,546
11	4	10	6	2	1,473	1,079	2,552
12	3	3	7	5	1,469	1,077	2,546
28.1	4	2	10	7	1,463	1,072	2,535
2	8	3	13	2	1,458	1,073	2,531
3	8	1	13	14	1,453	1,060	2,513
合計	140	102	175	129			

退会理由

病	気	105名	就業機会なし	4名
就	職	31名	家庭の事情(介護等)	15名
死	亡	25名	会費未納	39名
転	居	25名	加齢	33名
希望する仕事なし		19名	その他	8名
			合計	304名

(2) 会員の入退会者数の推移（過去5年間）



区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
入会者数	384	318	295	277	242
退会者数	335	349	307	316	304

(3) 会員の年齢別内訳

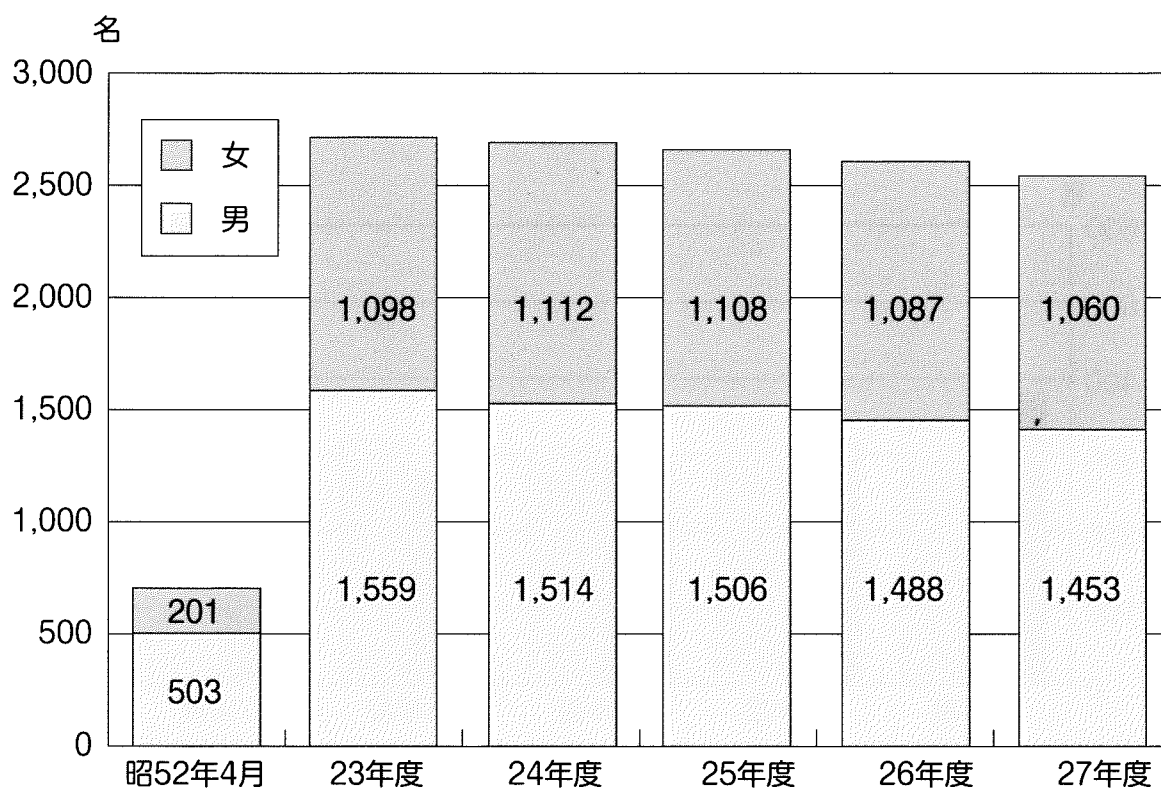
平成28年3月31日現在

	60歳未満	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	合計
男	2	39	278	433	379	322	1,453
女	1	34	206	340	297	182	1,060
計	3	73	484	773	676	504	2,513

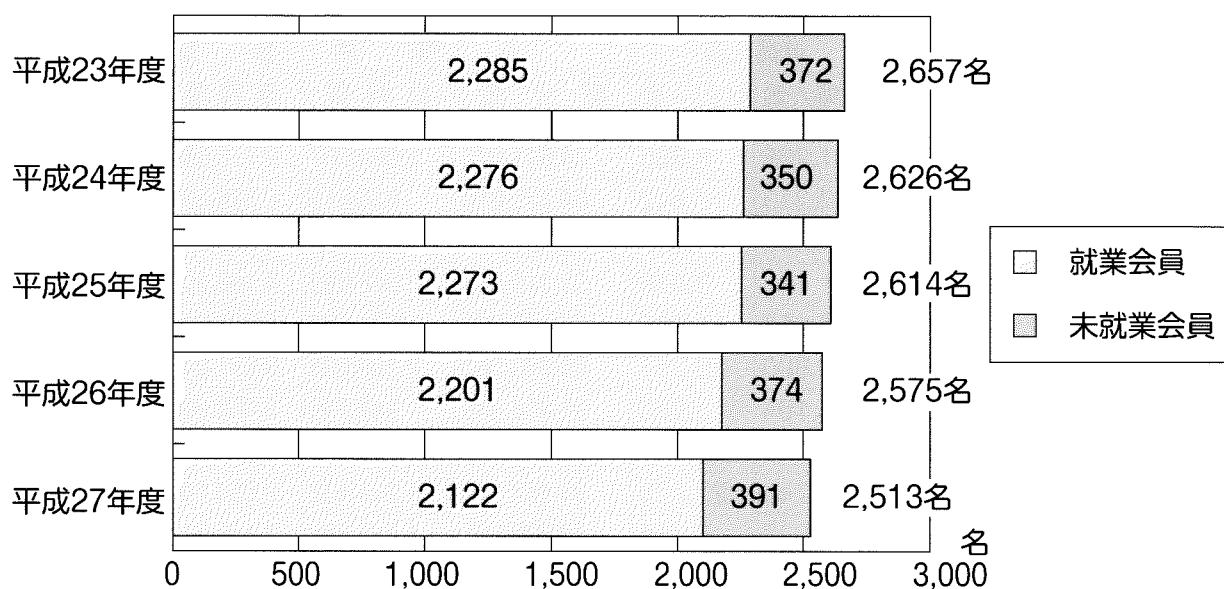
- ・会員の男女比 男性 57.8% 女性 42.2%
- ・平均年齢 男性 74.9歳 女性 74.5歳
- ・最高年齢 男性 93歳 女性 95歳

(4) 会員数の推移

	S52年4月	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
男	503	1,559	1,514	1,506	1,488	1,453
女	201	1,098	1,112	1,108	1,087	1,060
計	704	2,657	2,626	2,614	2,575	2,513



(5) 各年度別就業実人員の推移



(6) 各年度月別就業実人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 実人員
平成23年度	1,827	1,801	1,843	1,821	1,826	1,894	1,857	1,854	1,837	1,803	1,815	1,803	2,285
平成24年度	1,858	1,875	1,881	1,877	1,875	1,915	1,872	1,894	1,892	1,845	1,841	1,850	2,276
平成25年度	1,897	1,896	1,902	1,906	1,849	1,905	1,858	1,867	1,838	1,831	1,847	1,831	2,273
平成26年度	1,875	1,851	1,862	1,846	1,810	1,856	1,818	1,794	1,779	1,788	1,770	1,765	2,201
平成27年度	1,819	1,818	1,825	1,801	1,761	1,829	1,809	1,808	1,776	1,755	1,760	1,779	2,122

3. 事業実績

(1) 平成27年度月別事業実績

月別	月別 会員数	事業別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額			
				延実人員	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
	人		件	人	日人	円	円	円	円
4月	2,595	公共	45	1,296	8,965	34,641,077	1,084,507	2,778,084	38,503,668
		民間	1,388	2,313	17,642	64,220,610	820,815	5,325,603	70,367,028
		計	1,433	3,609	26,607	98,861,687	1,905,322	8,103,687	108,870,696
5月	2,526	公共	51	1,148	8,446	31,310,488	668,095	4,188,201	36,166,784
		民間	1,493	2,652	17,805	65,370,095	1,531,798	5,503,646	72,405,539
		計	1,544	3,800	26,251	96,680,583	2,199,893	9,691,847	108,572,323
6月	2,519	公共	55	1,195	8,963	31,808,388	944,736	3,463,966	36,217,090
		民間	1,549	2,553	18,316	66,644,786	980,702	5,590,228	73,215,716
		計	1,604	3,748	27,279	98,453,174	1,925,438	9,054,194	109,432,806
7月	2,512	公共	50	1,033	8,764	30,836,291	1,841,595	2,659,611	35,337,497
		民間	1,582	2,615	18,708	68,436,966	1,015,687	5,749,239	75,201,892
		計	1,632	3,648	27,472	99,273,257	2,857,282	8,408,850	110,539,389
8月	2,519	公共	44	1,244	8,075	29,973,259	1,211,240	2,280,536	33,465,035
		民間	1,410	2,321	17,189	62,265,918	1,144,876	5,219,759	68,630,553
		計	1,454	3,565	25,264	92,239,177	2,356,116	7,500,295	102,095,588
9月	2,527	公共	50	1,054	8,334	29,094,401	1,031,939	3,513,211	33,639,551
		民間	1,488	2,648	18,120	65,220,637	984,876	5,806,187	72,011,700
		計	1,538	3,702	26,454	94,315,038	2,016,815	9,319,398	105,651,251
10月	2,546	公共	56	1,288	9,376	31,974,997	846,039	3,332,294	36,153,330
		民間	1,585	2,703	18,602	67,562,886	1,014,980	5,701,273	74,279,139
		計	1,641	3,991	27,978	99,537,883	1,861,019	9,033,567	110,432,469
11月	2,552	公共	59	1,177	8,278	30,940,681	977,610	3,340,838	35,259,129
		民間	1,480	2,688	18,313	63,797,109	1,217,150	5,416,896	70,431,155
		計	1,539	3,865	26,591	94,737,790	2,194,760	8,757,734	105,690,284
12月	2,546	公共	46	947	7,315	27,258,951	891,376	2,916,686	31,067,013
		民間	1,506	2,377	17,470	62,464,651	1,058,970	5,327,256	68,850,877
		計	1,552	3,324	24,785	89,723,602	1,950,346	8,243,942	99,917,890
1月	2,535	公共	45	1,127	7,652	28,023,259	1,186,386	2,838,278	32,047,923
		民間	1,206	2,122	17,080	55,341,974	697,111	4,531,950	60,571,035
		計	1,251	3,249	24,732	83,365,233	1,883,497	7,370,228	92,618,958
2月	2,531	公共	48	1,157	8,492	30,591,135	923,392	2,890,485	34,405,012
		民間	1,248	2,073	16,654	58,712,120	820,650	4,955,952	64,488,722
		計	1,296	3,230	25,146	89,303,255	1,744,042	7,846,437	98,893,734
3月	2,513	公共	64	1,131	8,601	31,166,061	1,109,398	2,984,608	35,260,067
		民間	1,288	2,055	17,437	62,765,502	959,996	5,699,394	69,424,892
		計	1,352	3,186	26,038	93,931,563	2,069,394	8,684,002	104,684,959
累 計		公共	613	13,797	101,261	367,618,988	12,716,313	37,186,798	417,522,099
		民間	17,223	29,120	213,336	762,803,254	12,247,611	64,827,383	839,878,248
		計	17,836	42,917	314,597	1,130,422,242	24,963,924	102,014,181	1,257,400,347

(2) 会員の職群別就業実績

	公共事業		民間事業		合計		構成比
	延日人員	配分金	延日人員	配分金	延日人員	配分金	
	日人	円	日人	円	日人	円	%
1.技術群	0	0	4,555	16,381,619	4,555	16,381,619	1.4
2.技能群	160	2,023,240	9,242	68,427,414	9,402	70,450,654	6.0
3.事務整理群	3,427	16,438,764	13,698	27,190,478	17,125	43,629,242	3.7
4.管理群	36,083	206,629,075	19,194	82,785,776	55,277	289,414,851	24.5
5.折衝外交群	666	1,752,765	1,034	3,943,401	1,700	5,696,166	0.5
6.軽作業群	26,788	104,873,270	146,953	523,061,439	173,741	627,934,709	53.2
7.サービス群	34,137	85,804,985	18,660	41,013,127	52,797	126,818,112	10.7
8.その他	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	101,261	417,522,099	213,336	762,803,254	314,597	1,180,325,353	100.0
構成比%	32.2	35.4	67.8	64.6	100.0	100.0	

図-1 職群別配分金比率

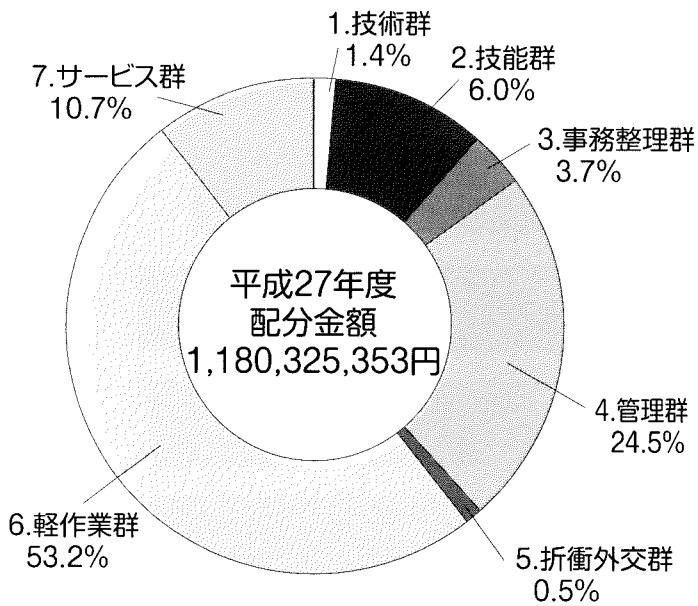
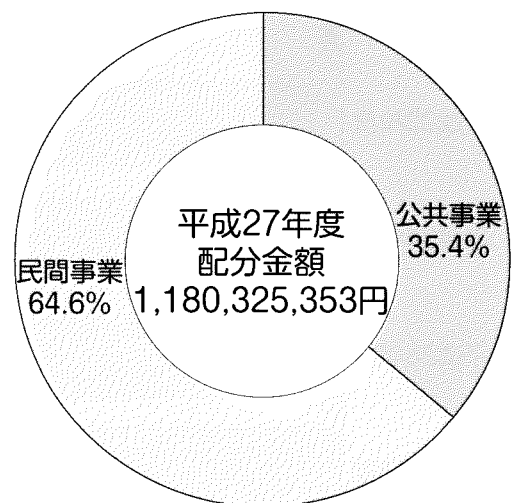


図-2 事業別配分金比率



(3) 各年度別事業実績 (過去5年間)

年度	事業別	委託件数	延日人員	配分金	材料費	事務費	計	公民比
		件	日人	円	円	円	円	
昭和52年度	公共	79	3,235	8,636,296	682,986	502,882	9,822,164	33.6 : 66.4
	民間	704	5,132	15,847,884	2,363,864	1,177,307	19,389,055	
	計	783	8,367	24,484,180	3,046,850	1,680,189	29,211,219	
平成23年度	公共	637	106,240	395,129,472	15,632,452	34,079,492	444,841,416	36.2 : 63.8
	民間	14,864	203,400	713,161,594	14,644,320	55,143,945	782,949,859	
	計	15,501	309,640	1,108,291,066	30,276,772	89,223,437	1,227,791,275	
平成24年度	公共	647	111,883	408,986,318	18,213,387	37,104,523	464,304,228	35.6 : 64.4
	民間	16,061	217,495	766,644,035	12,226,490	61,633,514	840,504,039	
	計	16,708	329,378	1,175,630,353	30,439,877	98,738,037	1,304,808,267	
平成25年度	公共	630	104,197	377,976,075	11,892,128	33,969,126	423,837,329	32.9 : 67.1
	民間	16,301	29,863	793,243,984	12,362,354	58,588,478	864,194,816	
	計	16,931	134,060	1,171,220,059	24,254,482	92,557,604	1,288,032,145	
平成26年度	公共	634	101,670	376,053,195	11,976,546	37,393,747	425,423,488	33.2 : 66.8
	民間	16,720	209,955	778,320,934	10,774,713	65,125,349	854,220,996	
	計	17,354	311,625	1,154,374,129	22,751,259	102,519,096	1,279,644,484	
平成27年度	公共	613	101,261	367,618,988	12,716,313	37,186,798	417,522,099	33.2 : 66.8
	民間	17,223	213,336	762,803,254	12,247,611	64,827,383	839,878,248	
	計	17,836	314,597	1,130,422,242	24,963,924	102,014,181	1,257,400,347	

図-3 各年度別事業実績の推移

